

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2022年8月)

【内政】

- 1日、第62回ベナン独立記念日祝賀式典がマリーナ大通りで開催され、ソグロ元大統領、ヤイ前大統領及び野党民主党(Les Démocrates)幹部らが出席した。(2日及び3日各紙)
- 21日、進歩党(UP党)と民主再生党(PrD党)が合併し、新党「進歩再生党(Union progressiste-Le renouveau、UPR 党)」が発足した。(22日各紙)
- 29日、共和党(BR党)と「新しいベナンのための民主連合(UDBN党)」間の協力関係が終了した。(30日、La Nation 紙他)

【外政】

- 29日からフランスを訪問中のタロン大統領は、30日、Medef 主催のフォーラムに出席し「ベナンはアフリカにおけるオアシスになろうとしている」と述べた。(31日各紙)

【治安】

- 16日、ヌアティン国防担当大臣は、最近ではテロ攻撃はまれなものとなり、特に武装勢力による直接攻撃はもう発生していないと述べた。(18日、La Nation 紙他)

【経済】

- 客月28日、アボメ・カラヴィ大学とファーウェイ・ベナンが2021年に締結した協定に基づき、学生、技術者及び ICT 企業幹部を養成するファーウェイ ICT 研究所(Uac-Huawei Ict Lab)が同大学内に設立された。(2日、La Nation 紙)

【文化・その他】

- 客月30日、タロン大統領は、ビオ・ゲラ像、アマゾン像及び忠魂碑の除幕式を行った。忠魂碑除幕式典においては国民向け演説も行った。(2日各紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 1日、第62回ベナン独立記念日祝賀式典がマリーナ大通りで開催され、ソグロ元大統領、ヤイ前大統領及び野党民主党(Les Démocrates)幹部らが出席した。(2日及び3日各紙)
- 3日、タロン大統領は被拘留者350名の恩赦を決定した。(16日、Le Matinal 紙)
- 経済犯罪・テロ取締裁判所(CRIET)上訴裁判部は、公金横領及び職権乱用の罪で20年の禁固刑及び5億CFAフランの罰金刑を言い渡されていた、コミ・クチェ元経済・財務相・元国家マイクロファイナンス基金(FNM)代表の控訴を棄却した。(4日、L'Événement Précis 紙、5日、Le Matinal 紙)

- ・ 4日、タロン大統領はソグロ前大統領私邸を訪問し、独立記念日祝賀式典及び各種モニュメント除幕式への出席に対する感謝を述べた。(8日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 5日、ウンベジ政府報道官は、マクロン仏大統領のベナン訪問と拘留者30名の解放の間に関係はないと述べた。(8日、Le Matinal 紙、9日、La Nation 紙)
- ・ 9日、進歩党(UP党)、共和党(BR党)及び新興ベナン党(FCBE党)に対し、3党合計で15億フラン CFA の政党補助金が交付された。(9日、Le Matinal 紙)
- ・ 12日、法改正により、ベナン全土の選挙区割り改正及び投票所配置の適正化が行われた。(16日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 21日、UP党と民主再生党(PrD党)が合併し、新党「進歩再生党(Union progressiste-Le renouveau、UPR党)」が発足。ジョベヌ前UP党党首・前憲法裁判所長官が党首に、タラタ副大統領が第一副党首にそれぞれ就任した。(22日各紙)
- ・ 26日、FCBE党と「信頼再興党(Restaurer la confiance)」の統合に向けた協議開始が発表された。(29日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 29日、BR党と「新しいベナンのための民主連合(UDBN党)」間の協力関係が終了した。(30日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び Le Matin Libre 紙)

【外政】

- ・ 客月29日、駐ベナン大使として着任したセルビア大使及びチェコ大使が信任状写しをアベノンシ外務・協力大臣に提出した。(2日、La Nation 紙)
- ・ 2日、アベノンシ外務・協力大臣は、2022年ベナン外交に関する外交団等向けブリーフィングにおいて、ヤイ前大統領をギニア調停役に推薦したのはタロン大統領であったと述べた。(4日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 18日、日本外務省及びJICAによるTICAD8事前オンライン・ブリーフィングが開催された(19日、L'Économiste 紙)
- ・ 29日からフランスを訪問中のタロン大統領は、30日、Medef 主催のフォーラムに出席し「ベナンはアフリカにおけるオアシスになろうとしている」と述べた。(31日各紙)
- ・ 27日、岸田総理はTICAD8開会式でのスピーチにおいて、官民合わせて300億ドル規模の対アフリカ投資を表明した。(29日、L'Économiste 紙、30日、La Nation 紙)
- ・ 28日、チュニス宣言が採択され、TICAD8が閉幕した。(30日、La Nation 紙)

【治安】

- ・ 客月31日、コトヌ市アツパツパ(Akpakpat)地区ルネ・プレヴェン・スタジアム付近で、ばらばらにされた死体が発見された。(4日、Le Matinal 紙及び Le Matin Libre 紙)
- ・ 2日、UNDP は国境地帯統一管理局向けに、バイク50台及び四輪駆動車1台を供与した。(3日、La Nation 紙及び L'Économiste 紙、4日、Le Matinal 紙)
- ・ 16日、ヌアティン国防担当大臣は、最近ではテロ攻撃はまれなものとなり、特に武装勢力による直接攻撃はもう発生していないと述べた。(18日、La Nation 紙、19日、Le Matin Libre 紙)

- ・ 26日、令和2年度補正予算案件「ベナン北西部国境における治安強化」の機材供与式が執り行われ、津川貴久大使が出席した。(30日、Le Matinal 紙及び31日、L' Économiste 紙)

【経済】

- ・ 客月27日、三宅書記官が出席し「アラダ市ドクン生産者団体アブラヤシ加工場整備計画」引渡式が行われた。同28日、稲葉書記官が出席し「ゼ市ヘカメ中学校及びセジェ・ウエグド中学校校舎建設計画」引渡式が行われた。(2日、L' économiste 紙、8日、L' Événement Précis 紙)
- ・ 客月28日、アボメ・カラヴィ大学とファーウェイ・ベナンが2021年に締結した協定に基づき、学生、技術者及び ICT 企業幹部を養成するファーウェイ ICT 研究所 (Uac-Huawei Ict Lab) が同大学内に設立された。(2日、La Nation 紙)
- ・ 客月29日、アカサト中国・ベナン友好高専 (Lycée technique d' Amitié sino-béninoise d' Akassato) における西アフリカ石油パイプライン会社ベナン支社 (Wapco Bénin) 主導の技術・職業教育プログラム設立記念式典が開催され、ペン駐ベナン中国大使が出席した。(2日、Le Matin Libre 紙、3日、La Nation 紙及び Le Matinal 紙)
- ・ 4日、ベナン政府は、新型コロナウイルス感染症がもたらした経済停滞からの脱却に充てるため、250億フラン CFA に上る借入金の資金調達を新たに開始した。(4日、L' Économiste 紙)
- ・ 農業・畜産・漁業省農業統計局は、ベナン国内の漁獲量が2年連続で減少し、2021年比6.7%の減少となったと発表した。(11日、L' Économiste 紙)
- ・ 8日、ウンベジ政府報道官は、パラク市近郊にある繊維会社COTEBの工場跡地に新たな繊維工場が建設される可能性に言及した。(12日、La Nation 紙)
- ・ 12日、在ベナン日本国大使館は、令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ドボ市ホントン中学校及びダドウエ中学校校舎建設計画」及び「アボメ・カラヴィ市グロ・ジベ第一中学校校舎建設計画」の署名式を実施し、津川貴久大使が出席した。(16日、Le Matinal 紙及び L' Économiste 紙、17日、L' Événement Précis 紙)
- ・ 21日、ニジェール・ベナン原油パイプライン敷設事業において、ニジェール川横断掘削工事が完了した。(29日、L' Événement Précis 紙及び Le Matin Libre 紙、30日、La Nation 紙)
- ・ 世銀及び S&P Global Market Intelligence が公表した2021年の世界港湾パフォーマンスランキングにおいて、コトヌ自治港はアフリカで32位(世界348位)であった。(25日、L' Économiste 紙)

【文化・その他】

- ・ 客月30日、タロン大統領は、ビオ・ゲラ像、アマゾン像及び忠魂碑の除幕式を行った。忠魂碑除幕式典においては国民向け演説も行った。(2日各紙)
- ・ ベナン政府は救急車200台を調達し、全土における緊急搬送体制を強化することを決定した。(16日、L' Événement Précis 紙)
- ・ 22日、ウエメ県及びプラトー県柔道大会が開催された。全国大会は10月に予定されている。(24日、Le Matin Libre 紙)